

米兵による運転手殺人事件に抗議し、在日米軍人等による犯罪等の再発防止の徹底を求める決議

3月19日夜、横須賀市汐入町の路上でタクシー運転手の男性が包丁で刺殺される事件が発生し、神奈川県警は、4月3日、米海軍横須賀基地に所属するイージス艦「カウペンス」乗組員の一等水兵を強盗殺人容疑で逮捕した。

横須賀市では、平成18年1月にも空母キティホーク乗組員の上等水兵が、通勤途中の女性の顔や腹部を殴るなどして内臓破裂で失血死させ、財布から現金を奪うという痛ましい事件が発生しており、市民・県民はもとより、とりわけ米軍基地を抱える本市の市民に強い衝撃と不安を与えるとともに、改まらぬ米軍及び米兵の体質に激しい憤りを禁じ得ない。

また、今回の事件は、沖縄県において本年2月に発生した米軍人による暴行事件等を受け、日米両国政府が再発防止に努めていた矢先の事件であり、これまでの再発防止策の実効性にも疑問を抱かざるを得ない。

度重なる事件に、米軍の再発防止策の弱さと、日米地位協定の運用改善では対処できない厳しい現実を指摘し、抜本的改善策を改めて求めるものである。

特に、今回の事件は、脱走兵が容疑者という異例の事件だったことから、基地から脱走した米兵の情報提供や起訴前の引き渡しの定着など、早急に米側と協議する必要がある。

よって、本市議会は、今回の刺殺事件及び米軍に起因する相次ぐ事件に関し、米軍当局並びに関係機関に対して抗議するとともに、事件の再

2008年 4月11日 12時01分

相模原市議会事務局

NO. 7328 P. 3

発防止に向けて下記事項の徹底と実現を強く要求する。

なお、本件は、議会閉会中であり、事態の緊急性なおかつ重大性にかんがみ、相模原市議会議員総員の署名をもって決議するものである。

記

- 1 事件の全容を解明するとともに速やかに公表し、家族に対する謝罪及び誠意を持った対応を行うこと。
- 2 在日米軍人・軍属等の一層の綱紀肅正を図り、事件・事故の再発防止に向けて、実効性ある施策を講じること。
- 3 日米地位協定の抜本的な見直しを図ること。
- 4 基地を抱える自治体の声を反映する仕組みをつくること。

平成20年4月10日

相模原市議会議員一同